

炎症関連大腸がんの アスピリンによる化学予防

ーモデルマウスにおける研究ー

薬学部 薬学科 大西志保

薬学セミナー 2022.7.14

炎症関連がん患者の発がん部位に8-ニトログアニン

炎症要因			がんの種類
感染要因	細菌	<i>H. pylori</i>	胃がん
		パピローマウイルス	子宮頸部がんなど
	ウイルス	B型肝炎ウイルス C型肝炎ウイルス	肝がん
		EBウイルス	リンパ腫、上咽頭がん
	寄生虫	ビルハルツ住血吸虫SH	膀胱がん
		タイ肝吸虫 OV	肝内胆管がん、胆道系がん
炎症性疾患	へんぺいたいせん 扁平苔癬		口腔がん
	バレット食道炎		食道がん
	炎症性腸疾患		大腸がん
	悪性線維性組織球腫 MFH		軟部肉腫
微粒子	アスベスト		中皮腫、肺がん

Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition. 69(3):265-271. (2021)

Original Article

Advance Publication

Chemoprevention by aspirin against inflammation-related colorectal cancer in mice

Shiho Ohnishi,¹ Keiichi Hiramoto,¹ Ning Ma,² and Shosuke Kawanishi^{1,*}

¹Faculty of Pharmaceutical Sciences and ²Graduate School of Health Science, Suzuka University of Medical Science, 3500-3 Minamitamagakicho, Suzuka, Mie 513-8670, Japan

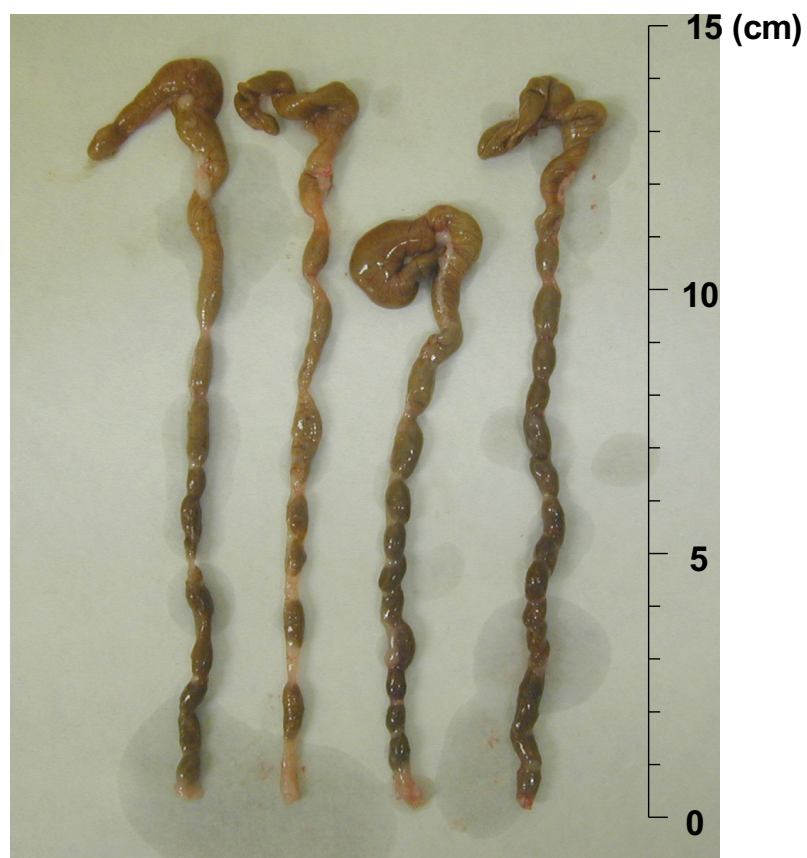
(Received 26 November, 2020; Accepted 15 March, 2021)

• J-STAGE から無料でダウンロードできます。

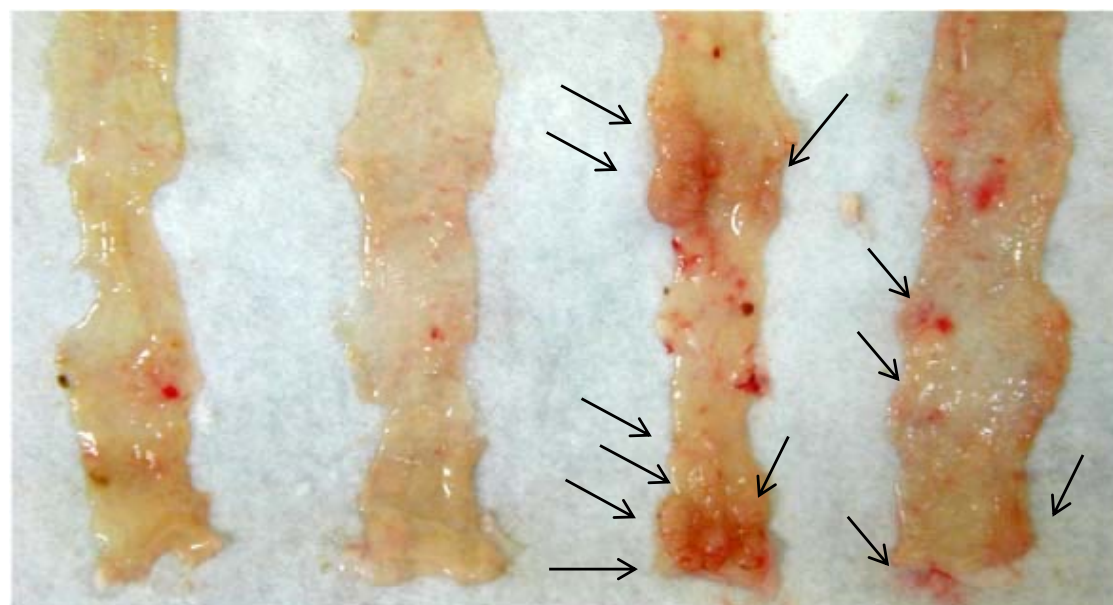
<https://doi.org/10.3164/jcbn.20-189>

結果1

アスピリンによる腫瘍抑制効果



無処置 アスピリン 水 アスピリン
発がん



無処置 アスピリン 水 アスピリン
発がん

Ohnishi S, et al. J Clin Biochem Nutr. 2021
Nov;69(3):265-271. doi: 10.3164/jcbtn.20-189.